

景観で「絆」を育み、景観で「選ばれる」まちをつくる

～ 南知多町景観計画作業部会（第3回）通信 ～

日時 令和5年6月22日（木）13:30～15:30

場所 南知多町役場



作業部会の目的

現在、本町では景観法に基づく南知多町景観計画の策定に向けた検討を進めています。

「景観」は、地勢をベースにした空間的な基盤の上で、人々の様々な営みにより生み出されるものであり、南知多町が目指すべき「景観」は、目指すべきまちの「視覚的な姿」に他ならないといえます。

そのため、南知多町の様々なまちづくりの施策が「景観」と関わってくるものであるとともに、「景観」の観点を考慮しながら施策を進めていくことが重要であり、庁内で景観施策を進めることの意義を共有し、連携していく必要があると考えます。

作業部会は、この庁内連携に関わる内容(施策等)の協議に重点を置き、策定後の効果的な推進につなげます。

第3回(最終回)の目的

○第2回のアイデアを参考に、『“絵に描いた餅”に終わらないような、また、計画への位置づけが可能な連携施策』として取りまとめます。

○その際、施策の連携体制、ロードマップ、連携による効果・課題等、連携施策について具体的に検討します。



次第

1. 開会

- ・本日の獲得目標と進め方
- ・オブザーバーの紹介

空き家マイスター 山本多恵さん

親子で海ごみアーティスト
上杉純一さん

2. 景観計画における実現方策について共有する

- ・南知多町景観計画の構成イメージ

3. 前回のテーマを深掘りし、“多分野連携施策”としてとりまとめる

- ・第2回作業部会の振り返り
- ・ワークショップ(景観施策の多分野連携に向けたグループ別検討)
- ・グループ別発表
- ・振り返り

作業部会メンバー

区分	所属	名前 ※()内はグループ名
作業部会 関係課	企画財政課	主幹兼企画政策係長 相川久紀 (A)
	産業振興課	主幹兼農政係長 土井美香 (B)
	環境課	環境保全係長 家田直政 (B)
	成長戦略室	主任主査(空き家) 堤田健太 (A)
	防災危機管理室	防災危機管理室長 石黒俊光(欠席)
	社会教育課	社会教育係長 石黒欽也 (B)
	健康子育て室	主幹兼児童係長 中村英樹 (A)
		主幹兼健康推進係長 伊藤尊人 (A)
	学校教育課	指導主事 八谷陽平 (B)
水道課	工務係長 鈴木喜彦 (B)	
事務局	建設経済部	部長 滝本恭史
	建設課	課長 山本 剛
		都市計画係長 石橋暁登 (A)
都市計画係 岸岡史峰 (A)		
都市計画係 林 俊太 (B)		
		(株)地域計画建築研究所 (アルバック)
その他	愛知県都市・交通局 都市基盤部	公園緑地課景観グループ 日野原課長補佐 (欠席)

Aグループ（テーマ：空き家・空き店舗）

空き家状況	施策	促進手法
<ul style="list-style-type: none"> ・築年数が古い ・シロアリ被害 ・空き家数が県内ナンバーワン(1,100戸の空き家、特に師崎に多い) ・親族間のトラブル ・町の予算半減 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク(登録料5万円) ・補助金 ・官民共創:事例 「がもよん」(大阪の蒲生四丁目)⇒古民家再生 「NIPPONIA」⇒町全体がホテル:美濃、伊賀上野 「たねや」⇒改修町家新築 ⇒民間ベースで取引する ⇒適法でやっているか行政がチェックする ・不動産、資金:ファンド、ハローリノベーション、A&B ・親の家(出てくるタイミング、早く出せる工夫) ・公共ができることには限界がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体把握 ・用途緩和 ・デザインコード ・町並みを楽しむ仕掛け ・移住者定着 ・地域需要調査 行政⇒民間:情報収集を民間リサーチ会社 ・家以外の問題も多い(浄化槽、費用がかかる)
連携施策	師崎地区：エリアの魅力を高め宿泊事業者の参入意欲を高める	
官民の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地をつくる ・ナイトアクティビティ ・まち歩き(宿泊客を歩かせる) ・散策・案内:ヒューマンでする、地元とふれあう、SNS で地元と友達をつくる・リピーターにも・地元と呑み仲間・はしご・路地空間を楽しむ 	
連携体制	建設課	エリア指定、デザインコード、上質な宿泊施設を誘致(1棟貸し)
	成長戦略室	地元交流(商工会、観光協会と連携)、コンシェルジュ 漁師育成⇒商売をやっている人を活かす 海・地の人と知り合いになりたい、南知多の売り=漁村のまち 漁師と友達になる、おばあちゃんが社員
	健康子育て室	子ども交流、保育園留学、保育園(子育てを自然豊かな所で) 子どもが遊べる町並み、学習塾が近くにない

Bグループ（テーマ：海・海岸のゴミ）

	①:ゴミを出さない	②:ゴミを集める	③:ゴミを処理する
ルール	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸のゴミのルール周知、ゴミ箱を置かない、設置看板を工夫する(デザイン、更新も) ・不法投棄の罰則の周知、抑止 	(親子) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから関わり大人を巻き込む ・親子でゴミ拾い⇒親の意識を変える(まずは楽しく) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金を生む方法:NFTで資金集め(デジタル住民票の発行(転売とかいろんな問題も)) ・釣り人は海(魚)好きな人が多い⇒ふるさと納税、クラウドファンディング ・サーファーはゴミを出さない ・有料でゴミを引き取る ・町が請け負う
人の目	<ul style="list-style-type: none"> ・有料BBQ場の設定、防犯カメラの設置(落書き、ポイ捨て防止)、監視・管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校地域清掃活動の継続、地域との協働(親も一緒に参加) ・親子向け講座(県外からも): ゴミ拾い⇒子どもアート アートに来る⇒ゴミを拾い帰る 	
漁業	<ul style="list-style-type: none"> ・絡んだ網を切り落としたり、ブイが流出したりする⇒漁師さんのゴミは漁協で回収するなど、きちんと産廃として処理する 		
考え方	浜辺の空間が、住民・町外の人、活動の結節点になる —探求型・海のSDGs学習(海ゴミを授業で～町内外の子ども) —海ゴミアートやサンドアートなど、海の魅力を一層引き立て、町外の人と交流のきっかけに ⇒南知多の海が好き、という気持ちを育む		

今後の予定

作業部会は今回が最終回です。作業部会で皆さんから出たアイデアは、景観計画の第9章「景観形成の施策」の検討材料とさせていただきます。なお、検討後、事務局より多分野連携施策(案)および重点施策(案)を各課に照会いたしますので、ご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。